

4 根拠の関係・接続表現 こんきよ

プリンター

国語のワーク5・6年生

「A。だから、B。」「B。なぜなら、A。」のような接続関係を『こんきよ根拠の関係』と言います。このとき、Aにあたる部分が理由を説明しています。

次の各文について「A。だから、B。」となっているものは「B。なぜなら、A。」に、「B。なぜなら、A。」となっているものは「A。だから、B。」に書きかえ、理由にあたる部分には――を引きましょう。

〔例〕を参考にして書きかえをしましょう。書きかえるときは、主語を前に移動させること
 もありますが、必ずそうしないといけないわけではありません。

〔例〕 仁太郎じんたろうはもう何も言うまいと思った。なぜなら、ここにいる村人たちに何を言ってもむだだと分かったからだ。

〔解答例1〕 仁太郎は、ここにいる村人たちに何を言ってもむだだと分かった。だから、もう何も言うまいと思った。

〔解答例2〕 ここにいる村人たちに何を言ってもむだだと分かった。だから、仁太郎はもう何も言うまいと思った。

① 私は納豆が好きだ。だから、毎朝食べている。

② めざましをセットし忘れた。だから、今朝は寝坊ねぼうした。

③ 伊能忠敬はすごい人だ。なぜなら、自分の足で歩いて精密な日本地図を作ったからだ。

4 根拠の関係・接続表現

プリント2

国語のワーク5・6年生

「だから」の代わりに「ので」を使うこともあります。「Aので、B。」の形になっている次の④⑤の文を、「B。なぜなら、A。」の形に書きかえ、理由の部分に――を引きましょう。

④ 原口さんの意見が一番しっかりしていたので、みんな賛成した。

⑤ 私はもう大人なので砂場では遊ばないよ。

「なぜなら」の代わりに「だって」「や」のは「を」を使うこともあります。「B。だって（のは）、A。」の形になっている次の⑥⑦⑧の文を、「A。だから、B。」の形に書きかえ、理由の部分に――を引きましょう。

⑥ 「このカレー食べられないよ。だって、めっちゃうちゃ辛いんだもん。」

⑦ 時間に遅れたのは、電車が事故で止まってしまったからだ。

⑧ 生まれ変わるなら江戸時代の町人がいい。というのは、江戸時代は個人に所得税がかからなかったからだ。

4 根拠の関係・接続表現 こんぎよ

プリント3

国語のワーク5・6年生

次の各文はすべて一文で書かれています。適する接続表現を後の□から選んで、「例」のように二文に書きかえましょう。同じ接続表現を二回使ってもかまいません。

〔例〕

仁太郎は、今から百年後には馬よりも速い乗り物にみんな乗っているだろうと言ったのだが、みんなは笑った。



仁太郎は、今から百年後には馬よりも速い乗り物にみんな乗っているだろうと言った。しかし、みんなは笑った。

① 私はフランスパンが好きだが、このフランスパンは固すぎて食べられない。

② 雨が降り出したが、気にせずに遊び続けた。

③ 駅に着いたのだけれど、電車は出発してしまった後だった。

しかし けれども

4 根拠の関係・接続表現 こんぎよ

プリント4

国語のワーク5・6年生

二文書きかえのまとめ

次の各文は一文で書かれています。「プリント3」と同じように、適

する接続表現を後の

から選んで、二文に書きかえましょう。同じ接続表現を二回使っても

かまいません。

① あちこちのお店を探し回ったけど、お気に入りのコップは見つからなかった。

② 小品川くんは一人暮らしだったが、とくに仕事はしていなかった。

③ ドラゴンが現れて、口から火を吹いた。

④ 元気がありあまっていたので、ジョギングをすることにした。

⑤ 毎晩遅くまで勉強していたのは、どうしても資格試験に合格しなかったからだ。

そして しかし なぜなら だから

4 根拠の関係・接続表現

プリント5

国語のワーク5・6年生

次の「」には、「しかし」と「なぜなら」が二つずつ入ります。「」に書きましよう。

① 三疊紀から白亜紀にかけて、地球上で繁栄を誇っていた恐竜たちは、約六千五百万年前にはほぼ絶滅してしまった。このとき、地球上に生きる生物の約七割が絶滅したと考えられている。

その原因について、いろいろな説があった。「」現在では、巨大隕石が衝突したことで大量絶滅につながったという説がもっとも有力である。

白亜紀とそれにつづく第三紀の地層の境界には、薄い粘土層がある。この粘土層は、「ヌーロ境界」と呼ばれている。この「ヌーロ境界」からは、全世界的に高い濃度のイリジウムが検出されている。「ヌーロ境界」が高い濃度のイリジウムを含むことから、隕石が地球に衝突したことが推測される。「」イリジウムはもともと地球上にはほとんどない物質のだが、隕石には多く含まれているからだ。

アメリカの地質学者ウォルター・アルバレスとその父親であるルイス・アルバレスは、このイリジウムの層について研究し、六千五百万年前に地球上で起こった大量絶滅の原因を「巨大隕石の衝突である」と結論づける論文を発表した。

当初、この説は多くの学者からの反論を受けた。「」証拠が不十分だったからである。地球上のほとんどの生物が死滅する原因となる「巨大隕石」が衝突したのならば、その痕跡となる巨大なクレーターがどこかにはあるはずであるが、アルバレス父子がこの説を発表したときは、そんなクレーターはどこにも発見されていなかったのである。「」一九九一年にユカタン半島北部に直径約一七〇キロメートルという巨大なクレーターが発見され、「チクシュループ・クレーター」と名づけられた。このクレーターができた年代が「ヌーロ境界」と一致することから、アルバレス父子の「巨大隕石衝突説」はほぼ間違いないと考えられるようになった。

4 根拠の関係・接続表現

プリント6

国語のワーク5・6年生

次の「」に当てはまる言葉を後の□から選んで書きましょう。

② 五月五日は「こどもの日」です。「」昔は女の人のためのお祝いの日でした。

昔の農村では、五月になると田植えが始まります。お米を育てるには、たくさんのお作業があります。

「」種の準備をする、床土に種をまく、田んぼをたがやす、代かきをする、などのよ

うに田植えまでにする作業だけでもこんなにあるのです。これらの作業の多くは男女で分業され

ていましたが、田植えだけは女の人の担当でした。女の人がするといっても、田植えは単調で重労働

です。「」大変な田植えをする女の人を大切に作る日をつくり、その日を「女天下」

「女の家」などと呼んで、女が家から男を追い出して過ごす風習がありました。

この風習が、奈良時代（今から約千三百年前）に中国から伝わった端午の節句と結びついて、け

がれをはらうための菖蒲をかざり、ちまきを食べるようになりました。「」現在「こ

どもの日」と言われている国民の祝日は、もともと農村で働く女の人のための日だったのです。

ところで、この女の人のための日であった「端午の節句」は、どのようにして「こどもの日」

になっていったのでしょうか。

奈良時代から平安時代になり、さらに鎌倉時代になると武士と呼ばれる人達が力をもつようにな

りました。その影響もあってか、「五月五日は菖蒲をかざる日」「しょうぶをかざる日」「しょうぶ、

しょうぶ、しょうぶ……」そうだ、五月五日は尚武の日！となり、武士にとっては、跡取り

となる男子が強たくたくましく育つのを祝う日となり。江戸時代には、男子の節句として定着したよ

うです。「尚武」とは、「武道・武勇を重んじる」という意味です。いずれにせよ、だじやれです。

「」おじさんたちがだじやれを好きなのは、千年前から変わらないのです。

このように だから しかし つまり たとえば

4 根拠の関係・接続表現

プリント7

国語のワーク5・6年生

③「大将の先駆け」という言葉があります。合戦の時に、陣の後方にとどまって指揮をとるべき大将が、「みなのもわれに続け！」

と先頭に立って戦場で戦うことを指します。「」「戦国時代では、蒲生氏郷や井伊直政などの武将は、大将の先駆けをよくやっていたそうです。特に、井伊直政の勇猛果敢ぶりは、「井伊の赤鬼」と呼ばれ恐れられていたそうです。

たしかに、そうすることで味方の兵士達の士気は上がります。「」「大将の本来の役目は、地形や天候、敵味方の戦力差、陣形などを分析し作戦を立て、戦いの方針を決定することです。戦場の全体を把握しなければ大将の本来の役目は果たせないということです。

ところが、大将自身が戦場に出てしまっただけでは、自分のまわりで起こっていることしか把握することができません。つまり、戦場の全体ではなく、部分しか把握できないということです。「」「大将の先駆けには別の欠点もあります。もし、大将が戦場で負傷したり、首をとられてしまったら、その時点で戦いを続けることは困難になります。

大将が先駆けをすることなく、陣の後方にいれば、敵の攻撃は簡単に届きません。そして、部下からの報告を受けながら、戦いの方針を決定することができます。「」「大将は陣の後方にとどまって指揮をとるのがいいのです。

しかし、たとえば、だから、また